※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ （高進生・文系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	攻略！共通テスト（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では前期は数学Ｃのベクトルの内容を後期は共通テスト形式の問題演習を通して、数学ⅡBC のそれぞれの分野における基礎的または発展的な内容を学ぶことで、数学的技能の向上や、思考力の醸成を目的としています。扱う問題はより深く、複雑になりますが、しっかりと授業の内容を身につけることで、いろんな問題に対応できる力を身につけることを目的としています。毎回の授業の復習を必ずするようにしましょう。また、復習をしっかりできるようにするために分からない部分はその日のうちに質問するなどして解決するようにしましょう。

2　学習の到達目標

ベクトルついての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てることを目標とし、数学ⅡＢＣの基本的内容から思考力の問われる総合的な問題に対して、思考し、論理的に解答できる。
身近に使われている数学的な事象について興味関心をもち、学んだことを主体的に生かして、その事象を理解できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅱまたは数学Ｂ、数学Ｃの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学Ⅱまたは数学Ｂ､数学Ｃの内容を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に 考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明 瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度､問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学C　ベクトル	平面上の位置ベクトル ベクトル方程式 空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形	a:平面上の位置ベクトルで内分点の位置ベクトルの公式等を正しく使うことができる。 b:直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連づけることができる。 b:直線のベクトル方程式の媒介変数処理ができる。 c:空間のベクトルと平面のベクトルを比較して考察しようとする。 c:３点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 b:ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できる。 b:空間における図形を、１つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 b:位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 b:線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 a:大きさとなす角、成分表示の各場合について、ベクトルの内積を計算できる。 a:座標空間における線分の内分点・外分点の座標が求められる。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	数学Ⅱ	二項定理、整式の割り算 恒等式、等式・不等式 複素数とその計算 2次方程式、因数定理・高次方程式 点・直線・円 曲線と直線、軌跡と領域 三角関数 指数関数・対数関数	c:自分で問題を分析することができる。 a,b:問題に対して解決の手がかりを見つけ出せる。			

※令和４年度以降入学生用

	数学Ⅱ 数学B 数学C	導関数と接線 関数の極大・極小、最大・最小 微分法の応用 不定積分・定積分 面積の計算 等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 数学的帰納法 確率分布と統計的な推測 平面ベクトルの基本と図形 空間ベクトルの基本と図形	b:自分で問題を分析することができる。 a,b:問題に対して解決の手がかりを見つけ出せる。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
後期	大学入学共通テスト実践問題	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法 平面上のベクトル 空間上のベクトル 数列 確率分布と統計的な推測	a,b:自ら入試問題を考え、解答に到達することができる。 c:復習をくり返すことで、実践力を身につける。 b:時間を意識しながら問題に取り組むことができる。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度